

基礎プログラミングの授業は、一年生の時の授業と違って、プログラムを作ってそれを実行するという自分でも全く理解出来ないような授業だったので最初からやる気が起きなかった。授業のペースも一年生の時とは全く違って格段早くなり、これから授業についていけるのかとても不安になっていたこともよくあった。

しかし、何回か授業を受けているうちにだんだん授業の進むスピードにもついていけるようになり、一番最初よりも自分で理解できるようになって自信がついてきたと感じるようになった。プログラム問題では、ひとつでも間違いがあると実行できないため、一回一回見直しをしっかりとすることを心掛けてやった。タイピングの早さを求められた一年時と比べ、打つ正確さが求められる今回のプログラミングは本当に大変だった。

そして、一年時の授業と違って毎回レポートが出題されるので、その課題をやり提出するのが大変だった。最初、一人の力では全く進めることができず正直いやになっていた。しかし、そんな分からなかった問題も、友達と一緒に考えてやっているうちに理解できるようになっていった。自分の力を伸ばすためにレポート課題は必要なものだったと今になって思うようになった。TAの方や先生にもたくさん助けてもらい、とても感謝しているし、本当にいてくれてよかったと思う。プログラミングの授業によって、自分のパソコンの能力を高められた部分がたくさんある。そして自分の苦手だった進数の計算も一人で解けるようになり、プログラムを自分で作成し実行する力も最初よりはついた。プログラミングの時間が嫌いだったが、今は少し好きになったかもしれない。西村先生の授業は大変だと先輩にきいていたが、思ったより楽しくてよかった。ただ、いまだについていけない自分があるが…。後期はもっと難しくなると思うが精一杯ついていけるように頑張りたいと思う。

これから情報社会についていけるようにここでたくさんのことを学び、力をつけていきたいと思う。